

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	かぶこキッズ支援スクール				公表日	令和8年 3月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	86%	14%	活動内容によって活動するスペースを小分けにしたりしています。	利用人数によっては活動スペースが広かったり、狭く感じる場合もあるので、活動内容によって机や棚の移動をして空間の調整を行えるように努めます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		適切な配置ができています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	86%	14%	子どもの様子、状況に応じた使い分けができるようにしています。遊ぶ場所、学習ができる場所が分かれています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	86%	14%	事業所内の清掃はしっかりと行き届いています。設備の不備などがある場合には直しています。	送迎車の清掃が不十分にならないように、半月に1度は清掃を行うように努めます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		クールダウンを必要とする際や個別活動を行う際、個室や1人用のテントを活用することができます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	86%	14%	職員全員が確認できるように日誌にまとめています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	71%	29%	年に1度保護者等からの事業所評価アンケートにてご意見などを把握する機会を設けています。	保護者等からいただいたご意見を真摯に受け止め、改善案を職員全員で話し合う機会を増やせるよう努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	86%	14%	日々の振り返りを行い、気づきや改善事項についてはすぐに話し合いの時間を設け、検討や改善を行っています。また、年に一度自己評価アンケートの回答もしています。	発信しやすい環境や雰囲気作りを心掛けるように努めます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	57%	43%		評価結果を業務改善に繋げるように努めます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	71%	29%	職員が受講した研修資料などについては閲覧できるようにまとめています。	参加が難しい職員には、伝達研修等を行い、研修内容の確認や共有ができるように努めます。
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	86%	14%	事業所のホームページにて公開をしています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	71%	29%	利用者本人、保護者の希望やニーズをしっかりと把握して、それに沿った個別支援計画の作成を行っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	71%	29%	日々の業務日誌、提供ノートの他にも職員間のミーティングでの内容を濃いものとし、検討事項も多く集めることができます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	71%	29%	職員間で共有し、計画に沿った支援を行っています。	継続した情報共有と周知の徹底に努めます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	57%	43%	日々の支援時間や振り返りを職員間でだったり、保護者からも家庭や学校での状況や様子を確認するようにしています。	ツールを用いたアセスメントについては導入を検討中です。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	71%	29%	放課後等デイサービスガイドラインを踏まえ、利用者の特性や課題に応じた支援項目を設定し、支援計画の作成を行っています。	支援内容の具体性や表現方法について、職員一人ひとりの理解度にバラつきがあるため、職員研修や確認体勢の強化を図り、計画内容の充実にも努めます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	86%	14%	職員間でミーティングを行い、活動プログラムを組んでいます。	職員全員が活動の目的を理解し、取り組むことができるよう努めます。

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	71%	29%	活動内容が固定化しないよう、製作であれば季節や行事に沿った内容にしたり、ゲームであれば約束事を増やしたり、ルールを変更して工夫をしながら組み立てを行っています。	利用者個々の特性を踏まえて、変化の苦手な利用者には様子を見ながら、自主性も尊重するよう努めます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	86%	14%	週ごとに個別・集団と活動計画を組んでいます。利用者の日々の状況や様子に合わせて支援計画に沿った支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	86%	14%	支援開始前には作業・役割分担について職員間で話し合いを行い、日誌にまとめています。利用者同士や職員との相性なども考慮しながら支援を行っています。	職員全員が活動の目的を理解し、取り組むことができるよう努めます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	86%	14%	支援終了直後は話し合いを設ける時間が取りにくいので、翌日に必ず前日の振り返りを行っています。作業の取り組み方や姿勢に応じて、次回の支援方法を検討し、共有を行っています。	職員全員が確実に共有でき、今後の支援に繋げられるように努めます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		利用者家族向けの提供ノートの記入の他、支援日誌を記録しいつでも誰でも振り返りが行えるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	71%	29%	3ヶ月または6ヶ月に一度モニタリングを行い、支援計画の見直しの実施をしています。	モニタリング実施時期や確認項目を明確にして、職員間で共通理解を図ることで、計画見直しをより適切かつ確実に実行する体制づくりに努めます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	71%	29%	事業所内の活動では時間割を行い、複数の基本活動を組み合わせて支援を行っています。	基本活動のならいや具体例について職員間で共有し、ミーティングを通じて理解を深めるよう努めます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	86%	14%	利用者が活動内容や関わり方について自己選択できるように選択肢の提示をするなどの工夫を行っています。	発達段階や特性に応じて言葉や視覚的支援を用いながら支援するよう努めます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	86%	14%	主に児童発達管理責任者が関係機関との会議には出席をしています。	担当者会議などを企画し、会議の機会を増やせるよう努めます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	57%	43%	必要に応じて相談支援事業所・学校を中心に連携を取れる体制を整えています。	関係機関との連携は図っていますが、連携方法の整理と共有をすすめ、体制の強化に努めます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	86%	14%	学校のホームページの確認、送迎時などに先生や保護者に確認を行っています。また、必要な場合には電話連絡もしています。	確認漏れが無いように連携の強化に努めます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	57%	43%	必要な場合には適宜、事業所間連携を行い、情報共有や状況把握を行い、相互理解に努めています。	関係機関との連携の体制の強化に努めます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	57%	43%	移行時には必要に応じて情報の提供を行っています。	手順の整理や職員間での情報共有を進め、円滑な移行支援に努めます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	29%	71%		児童発達支援センターとの連携体制を見直し、定期的な情報交換や助言を受ける機会の確保に努めます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	29%	71%		直接的な交流はありません。地域のイベントや行事に参加をして一緒にいることはありますが、交流する機会が増やせるように努めます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	57%	43%	管理者、児童発達支援管理責任者が可能な限り参加をしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	57%	43%	日々の支援時間の様子や提供ノート、送迎時の会話、電話連絡などで状況や様子の情報共有や状況把握を行っています。	職員全員が共通理解できるよう連携の強化に努めます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	57%	43%	保護者からの要望などがある場合には研修会などの情報共有を行うようにしています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	71%	29%	ご契約時に説明を行っています。また、ご質問をいただいた際にも丁寧な説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	86%	14%	面談時やご契約前に聞き取りを行い、希望やニーズの確認を行っています。	説明方法の統一や理解の促進を図り、丁寧な対応に努めます。

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	71%	29%	個別支援計画を示しながら説明を行い、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	71%	29%	送迎時や面談時の会話、電話連絡やLINE、メール等も活用しながら支援や助言を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	29%	71%	利用者家族参加型のイベントを企画し、開催をしています。保護者同士や兄弟での参加が可能の為、交流する機会は設けられています。	交流できるイベントの企画の強化に努めます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	86%	14%	ご契約時に説明を行っています。また、体制の整備もできています。苦情があった場合には、職員間で迅速な情報共有を行い、対応改善をしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		事業所の活動内容や行事予定を記載したお便りを1ヶ月に1度保護者に配布をしています。	SNSの活用頻度を上げ、事業所での活動内容やイベントの発信の強化に努めます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		面談・ご契約時の書類などは鍵付きの書庫で保管をしています。SNS等の公開には、各家庭に確認をし、了承を得ています。	継続して個人情報の取り扱いの強化に努めます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	86%	14%	利用者またその家族に分かりやすいかみ砕いた説明をするように心掛けています。必要な場合には、スマートフォンや文字、写真等を使用しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100%	事業所地域内である行事やイベントにはできる限りの参加をするようにしています。	地域に開かれた事業運営の強化に努めます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	86%	14%	各種マニュアルを策定し、事業所内で周知できています。	保護者にも周知できる機会を設けられるよう努めます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	86%	14%	BCPを策定し、避難訓練や消防署見学を行っています。	非常災害に備え、備蓄品の管理や必要な訓練の充実に努めます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		面談やご契約時、日々の連携などで情報共有を行い、確認を行っています。また、必要な場合には医師への相談をお願いしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	86%	14%	安全管理を十分にしたらうえで支援を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	71%	29%	安全計画に基づく取り組み内容について家族への周知、情報共有を行っています。	周知方法や説明をする機会を増やす工夫をし、家族等との連携強化に努めます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		事案がある場合には紙面にまとめ、報告をし、共有をすぐに行っています。また、週に1度のオンライン会議でも報告し、改善策を職員で話し合いを行って、再発防止に取り組んでいます。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	71%	29%	虐待防止研修の視聴後、伝達研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	57%	43%	重要事項説明書に記載をしています。ご契約時に保護者に説明をして、了承を得ています。		